



町田 芹那 ちゃん
「じいじ、ばあば、
いつもありがとう♡」
(荒川日野)



山中 煌輝 くん
「いたずらだいすき♡」
(上影森)



島崎 亜弥乃 ちゃん
「SL大好き♡」
(栃谷)



町田 隼人 くん
「パパが一番
だ〜いすき♡」
(大野原)



応募方法

1〜1歳半程度のお子さんの写真を同封し（メールの場合は、500KB以上の画像を添付）、住所・保護者の方のお名前・電話番号・お子さんのお名前（ふりがな）・性別・生年月日を明記のうえ、秘書広報課（☐hisyo@city.chichibu.lg.jp）までご応募ください。
抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

台湾の高校生と連携し、
商品開発に取り組んでいます。(皆野高校)



皆野高校は、埼玉県教育委員会から「平成26年度実践的職業教育グローバル推進事業」の推進校に指定されています。今年度は視点をグローバルに移し、台湾での商品の販売を目標にして、台湾の高校生と意見交換をしながら、6月から開発に取り組んできました。「秩父の新たな小昼飯を提案」というコンセプトを設定し、連携先のイオンの方からアドバイスをいただきながら、何度も開発商品を練り直しました。2月21日の発売を目指して完成段階に入っています。

また、この事業の一環として、12月に生徒3人が台湾派遣研修に参加しました。台湾の生鮮食料品を扱う市場や百貨店、スーパーマーケットを見学して食文化について学ぶとともに、海外で働いている日本の方からグローバルという視点で講話をいただきました。国外に出て、外から見る「日本」を意識するとともに、台湾の高校生とのコミュニケーションを通して多くの気づきがありました。



市民文芸

俳句

露天掘の傷を包みて山眠る
着ぶくれて投票用紙投じけり
冬空に子役見得切る山車歌舞伎
姿見に孫の手形や去年今年
秋夕焼畦に六つの膝小僧
秋霖や仏間に香の匂い閉ず
吟味して沢庵漬けし日の暮るる
ふと出あう遠き織子と冬日向
年の瀬や夫と手分の大掃除
水音の空へささやく冬の川

（評）秋から冬にかけての作品は、優しさをやさしい心で捉えた作品が多く見られました。地表から直接鉱石などを掘り出した跡を、地表の傷と表白した真弓さんは、自然の大きな愛を描きました。キマさん・みつさん・洋子さんは、子どもの凜凛しさを・いたずらさなも可愛いく・その子らの元気を表白しました。一登さんは上五の措辞に作品を豊かにし、富江さんは自然の動きを生活の中で把握し、トミエさんは自然に耳をすましています。初恵さんとハクさんは年末の心の働きを、定美さんは、人との思い出を描きました。

※次回3月号は短歌を掲載します。

竹内 弥太郎 選

- 近戸町 須田 真弓
- 大野原 黒沢 一登
- 小柱 設楽 キマ
- 道生町 福田 みつ
- 山田 高橋 洋子
- 上吉田 山口 富江
- 大畑町 江原 初恵
- 中町 内田 定男
- 栃谷 竹村 ハク
- 熊木町 新井トミエ

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記のうえ、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

俳句 2月末締切→4月号に掲載
短歌 3月末締切→5月号に掲載